

平成24年度自然災害研究協議会西部地区部会研究発表会プログラム

日時：2013年2月1日（金）10:00～18:15

会場：九州大学西新プラザ

講演1件あたり15分

講演：12分 質疑：3分

開会の辞（10:00～10:05）

久保田 哲也（九州大学大学院農学研究院）

第1セッション（10:05～12:05）：座長 陳 光斉（九州大学基幹教育院）

1. 透過型砂防堰堤における流木と土砂の捕捉と挙動に関する実験的研究

橋村 京介・池松 伸也・三好 朋宏・大仲 修・橋本 晴行

2. 簡易Bishop法による広域不安定斜面 (SlopeUnit) 抽出の試み

°範 亜南・陳 光斉・笠間 清伸

3. GIS Landslide Zoning: from Susceptibility to Hazard

°Guruh Samodra, Guangqi Chen, Junun Sartohadi and Kiyonobu Kasama

4. Safety Analysis of Evacuation from Inundated Underground Space

°Hong Zhang, Guangqi Chen, Kiyonobu Kasama, Shuguang Liu and Maohui Zhen

5. Development and Space Distribution Characteristics of Debris Flows along Ya-Lu Highway at Active Fault Zone

°Zheng Han, Guangqi Chen, Lu Zheng and Yange Li

6. Numerical Study on Soil Arching Effects of Anti-slide Piles

°Fusong Fan, Guangqi Chen, Kiyonobu Kasama, Yange Li and Lu Zheng

7. 地圏シミュレータ構想（その4） - 鹿児島版地盤情報データベースの構築 -

酒匂 一成・°北村 良介・中田 文雄・田中 義人・城本 一義

8. 2011年新燃岳噴火による降下テフラ層の変化

°黒木 貴一・磯 望・後藤 健介・宗 建郎・黒田 圭介

第2セッション（13:05～15:35）：座長 高谷 精二（南九州大学）

9. 2012年九州豪雨災害の気象学特性

°守田 治・山口 榮次

10. 平成24年梅雨末期豪雨による九州北部の山地災害

°久保田 哲也・篠原 慶規

11. 平成24年7月集中豪雨による阿蘇地域の土砂災害

°北園 芳人・野田 光星・西坂 将吾

12. Effect of Obstacles in Floodplain on Woody Debris Jams during the Yabe River Flood in Yame City, Japan

°Muhammad Islamy Rusyda, Kensuke Sakada, Masakazu Kusukubo, Shinya Ikematsu and Haruyuki Hashimoto

13. 2012年7月洪水における矢部川水害防備林の流木捕捉に関する調査
°坂田 賢亮・Muhammad Islamy Rusyda・楠窪 正和・池松 伸也・橋村 京介・橋本 晴行
14. 2012年7月に大分県北部で発生した豪雨災害の特徴
°山崎 俊成・山本 晴彦・山本 実則
15. 2012年7月12日に熊本県で発生した豪雨災害の特徴
°山本 晴彦・山崎 俊成・山本 実則
16. 平成24年7月九州北部豪雨による人的被害の特徴
°牛山 素行・横幕 早季
17. 2012年7月北部九州豪雨災害と学校の防災対応
°磯 望・黒木 貴一
18. 平成24年九州北部豪雨と避難情報について
°森山 聡之

第3セッション（15:55～18:10）：座長 橋本 晴行（九州大学大学院工学研究院）

19. Hurricane Incidence and Sediment Disasters under the Climate Change in Nuevo Leon, Mexico
°Laura Sanchez Castillo, Tetsuya Kubota and Israel Cantu Silva
20. 2011年台風12号に伴う紀伊半島における豪雨解析と流域雨量の推定
°小林 北斗・山本 晴彦・高山 成・山崎 俊成
21. 気象災害画像データベースの構築と防災教育への利活用
°山本 実則・山本 晴彦・山崎 俊成・荊木 康臣
22. 山陽小野田市厚狭地区を対象とした3D映像とGISを融合した洪水時における安全な避難路の見える化ツールの研究開発
°山本 晴彦・岩谷 潔・吉越 恆・山本 実則・山崎 俊成・伊藤 重稔・弘中 淳一
23. 気仙沼市の津波避難における避難ビル活用と情報伝達の課題
°村上 ひとみ
24. 災害伝承「念仏講まんじゅう」-150年毎月続く長崎市山川河内地区の営み-
°高橋 和雄・緒統 英章
25. 1982長崎豪雨災害から30年を振り返る
°高橋 和雄
26. 我が国城郭の地震被害
後藤 健介・°後藤 恵之輔
27. 砂岩泥岩互層の崖錐成長速度
°高谷 精二・緒方 一・鈴木 恵三

閉会の辞（18:10～18:15）

高橋 和雄（長崎大学大学院工学研究科）